

第62期中間報告書

# KONDOTEC

# REPORT

平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日



コンドーテック株式会社

証券コード 7438

## 株主の皆様へ



代表取締役社長 近藤 勝彦  
代表取締役会長 菅原 昭

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、ここに第62期第2四半期(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)の営業の概況と決算につきましてご報告申し上げます。

よろしくご高覧賜りますようお願い申し上げます。

平成25年11月

## 当第2四半期の連結経営成績

### 建設投資の回復で最高益更新

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府が打ち出した経済・金融政策を背景に、公共投資の増加、高水準の新設住宅着工戸数の維持など、企業業績の回復や企業の業況判断は改善の動きが見られる一方で、個人消費の伸びに一服感が出てきたこと、海外景気の下振れリスクが存在することなど不安定な状態が続いております。

当社グループ関連業界におきましては、震災の復興を中心に公共投資は堅調に推移し、新設住宅着工戸数は低水準の金利やその先高感、消費増税前の駆け込み需要などにより着工を押し上げております。

このような状況のもとで、当社は自社製品の拡販、新規販売先の開拓や休眠客の掘り起こしなどの営業活動を展開するとともに、連結子会社である三和電材株式会社との事業拡大を図っております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は22,138百万円(前年同期比12.5%増)と増収になりました。

利益面につきましては、売上総利益率は前年同期と同率でありましたが、堅調な建設需要を背景に売上は増加し、営業利益は1,466百万円(同27.3%増)、経常利益は1,511百万円(同26.6%増)、四半期純利益は899百万円(同28.7%増)と増益になりました。

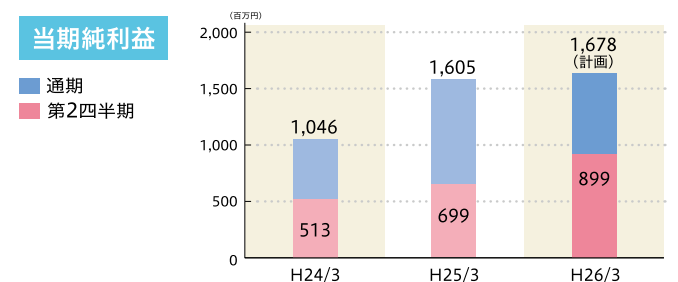
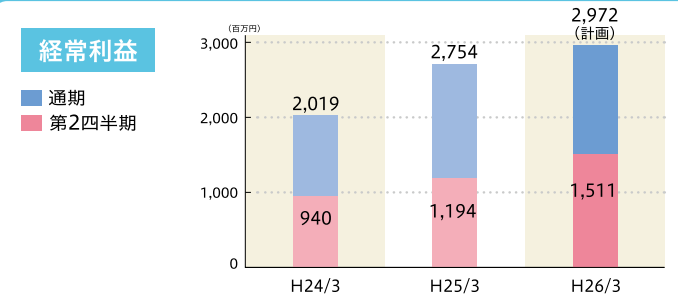
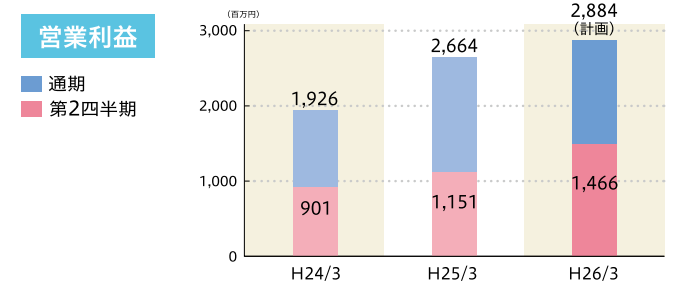
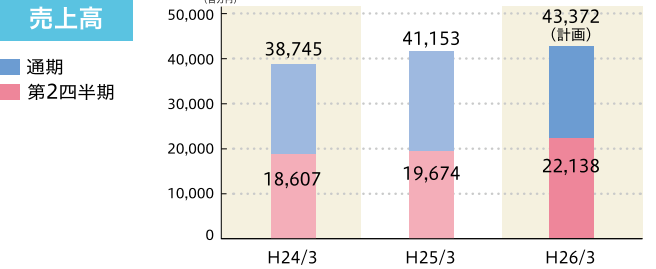
売上高  
**221億38百万円**  
(前年同期比 +12.5%)

営業利益  
**14億66百万円**  
(前年同期比 +27.3%)

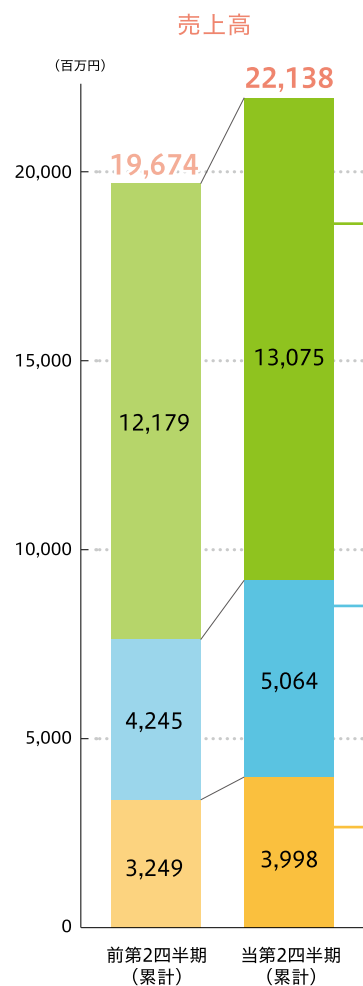
経常利益  
**15億11百万円**  
(前年同期比 +26.6%)

四半期純利益  
**8億99百万円**  
(前年同期比 +28.7%)

## FINANCIAL HIGHLIGHT | 決算ハイライト



## セグメント別業績



### 産業資材

売上構成比 **59.1%**

土木・建築を始め、物流や船舶、電力、鉄道、営林、農園芸、環境、街路緑化、産業廃棄物関連などさまざまな業界に商材を供給している当セグメントは、震災復興向け資材が堅調に推移するとともに、太陽光発電設備向けのクランプやパイプの受注の増加、消費増税前の住宅着工の増加を背景にした木造住宅用金物の受注もあり、当セグメントの売上高は13,075百万円(前年同期比7.4%増)となりました。

**主な製品・商品**

ターンバックル、シャックル、足場吊りチェーン、丸セパレーター、ワイヤロープ、各種チェーン、コンテナバッグ、ブルーシート、土のう袋、物流荷役機器、木造住宅金物、型枠部材、仮設足場、現場用品、船舶・港湾関連資材、鉄鋼二次製品、環境関連資材、街路・緑化関連資材、鉄道関連資材 他

角フックボルト   鉄道橋での使用風景   コンテナバッグの河川での使用風景

### 鉄構資材

売上構成比 **22.9%**

鉄骨資材の指標の1つとなる推定鉄骨需要量は引き続き回復基調で推移しており、民間を主体とした物流倉庫や店舗などの建築物件の増加により、当セグメントの売上高は5,064百万円(前年同期比19.3%増)となりました。

**主な製品・商品**

ブレース、アンカーボルト、ハイテンションボルト、ボルトナット類、鉄骨部材、溶接・塗装資材、機械工具、施工工事 他

ターンバックルブレース   鉄骨建物での使用風景   アンカーボルト   基礎工事風景

### 電設資材

売上構成比 **18.0%**

商業施設や特別養護施設などの建築物件の増加や、省エネ・創エネ意識の高まりによるLED照明や太陽光発電設備、それに付随する電線等の需要を積極的に取り込んだ結果、当セグメントの売上高は3,998百万円(前年同期比23.0%増)となりました。

**主な製品・商品**

照明器具、空調機器、換気扇、分電盤、電線ケーブル、配線器具、エコキュート、太陽光発電機器、家電機器 他

LED照明   太陽光パネル

## 通期の見通し

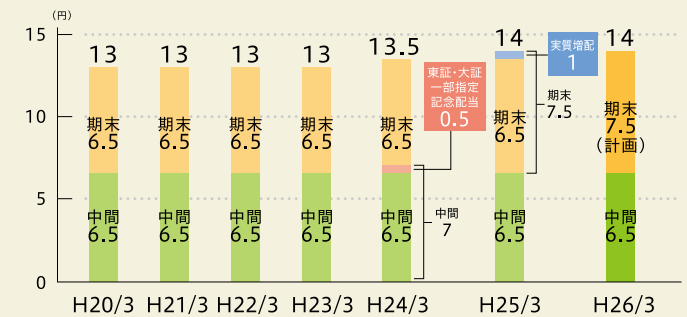
### 平成 26 年3月期の連結業績予想

売上高 <b>433億72百万円</b> (前期比 +5.4%)	経常利益 <b>29億72百万円</b> (前期比 +7.9%)
営業利益 <b>28億84百万円</b> (前期比 +8.2%)	当期純利益 <b>16億78百万円</b> (前期比 +4.5%)

## 配当金

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な施策として位置づけ、「収益の向上」、「企業価値の増大」を図りながら、配当性向を勘案し、安定配当を目指すことを基本方針としております。

この方針のもと、平成26年3月期の中間配当金は1株につき6円50銭といたします。(支払開始日 平成25年11月26日(火))



(注)当社は平成24年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行っております。

## TOPICS:1 | 東京本社開設

首都圏での、より一層の営業力強化、情報収集を図るとともに、採用等の一部本社機能を充実することを目的に、平成25年7月1日付で東京本社を設置し、大阪との二本社制といたしました。

東京本社：東京都江東区南砂一丁目9番3号(東京支店と併設)

## TOPICS:2 | 日経IRフェアへ出展

平成25年8月30日・31日に東京国際フォーラムにて開催されました個人投資家向けIRイベント「日経IRフェア2013」に出展いたしました。

開催中の総入場者数は累計約17,000名で、その内、約800名の方々に当社ブースへ足を運んでいただきました。

今後も、個人投資家の皆様との対話を継続的に実施していくことで、より一層の企業価値向上に努めてまいります。



## TOPICS:3 | 鉄道技術展へ出展

平成25年11月6日～8日に幕張メッセにて開催されました「第3回鉄道技術展」に出展いたしました。

この鉄道分野の技術が一堂に会する総合見本市にて、当社特許製品の橋げたと枕木を固定する軌道金具「角フックボルト」などをご紹介いたしました。

今後も、鉄道業界へ向けて当社製品の拡販を図るとともに、情報共有を通してさらなる技術の発展を目指してまいります。



## TOPICS:4 | 株式付与ESOP信託制度導入

従業員の労働意欲や経営参画意識の向上を促すとともに、当社の業績向上や株価上昇に対する意欲や士気高めることにより、中長期的な企業価値向上を図ることを目的としたインセンティブ・プランとして「株式付与ESOP信託制度」を導入いたしました。

詳しくは当社ホームページのニュースリリース「株式付与ESOP信託の導入に関するお知らせ」をご覧ください。

## 製・商品のご紹介 | PICK UP PRODUCTS

当社では、さまざまな場面で使用されます、およそ50,000点の製品・商品を取り扱っております。その中の一部のアイテムをピックアップし、ご紹介いたします。

## 仮設足場部材 | ～作業の効率と安全を陰で支える～

ビル、マンション、住宅などのさまざまな建設工事現場には、働く方々が作業するための「仮設足場」が必要不可欠です。

建設工事中に使用する「仮設足場」は、建造物が完成してからは見ることはできませんが、現場状況や建造物の形状に応じて多種多様な資材を組み合わせ、作業現場の安全を守っています。

### インフラ改修でも活躍

国土強靱化計画のもと、急速に進められております老朽化した高速道路や橋梁などのインフラ改修作業でも、この「仮設足場」が活躍します。



高速道路



マンション



住宅

### 足場吊りチェーン | ～高所作業に安心安全をお届け～

海上にある橋や一般道の上にある高速道路高架など、地上から仮設足場を組むことができない状況では、「足場吊りチェーン」で足場を吊ることによって、安全な作業足場を設置します。

当社九州工場で製造しています「足場吊りチェーン」は、破断荷重、耐久試験など、安全性を厳しく検査した社団法人仮設工業会認定基準に合格しております。



海上にある橋の足場での使用風景



(社)仮設工業会認定  
足場吊りチェーン  
認定品目  
K型、KS型、KSR型、KO型、  
KOO型、KSP型、KN型、KSRSP型



(社)仮設工業会認定とは  
建設工事における仮設設備の安全を確保し、構造、使用基準の設定や技術的指導を行うため、(社)仮設工業会の認定制度が確立されております。

四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)				(単位:百万円)			
科目	当第2四半期末 (平成25年9月30日現在)	前期末 (平成25年3月31日現在)	増減	科目	当第2四半期末 (平成25年9月30日現在)	前期末 (平成25年3月31日現在)	増減
<b>資産の部</b>				<b>負債の部</b>			
<b>流動資産</b>	<b>20,920</b>	<b>21,310</b>	<b>△ 390</b>	<b>流動負債</b>	<b>11,471</b>	<b>12,462</b>	<b>△ 990</b>
現金・預金	4,671	4,798	△ 127	支払手形・買掛金	4,625	5,361	△ 735
現金・預金につきましては、次ページの「四半期連結キャッシュ・フロー計算書」をご参照下さい。				短期借入金	750	800	△ 50
受取手形・売掛金	11,426	11,841	△ 415	未払金	4,485	4,470	14
受取手形・売掛金 前期末残高には、期末日満期手形570百万円が含まれております。				未払法人税等	510	667	△ 156
たな卸資産	3,125	2,746	378	その他の流動負債	1,099	1,162	△ 62
たな卸資産 復興需要の本格化にそなえ、たな卸資産の積み増しを行いました。				その他の流動負債	1,099	1,162	△ 62
その他の流動資産	1,751	1,982	△ 231	<b>固定負債</b>	<b>1,447</b>	<b>1,739</b>	<b>△ 292</b>
貸倒引当金	△ 53	△ 59	5	退職給付引当金	1,138	1,177	△ 39
<b>固定資産</b>	<b>9,651</b>	<b>9,882</b>	<b>△ 231</b>	その他の固定負債	308	561	△ 253
<b>有形固定資産</b>	<b>8,596</b>	<b>8,636</b>	<b>△ 39</b>	<b>負債合計</b>	<b>12,918</b>	<b>14,201</b>	<b>△ 1,282</b>
建物・構築物	2,111	2,171	△ 59	<b>純資産の部</b>			
土地	5,752	5,752	—	<b>株主資本</b>	<b>18,888</b>	<b>18,196</b>	<b>692</b>
その他の有形固定資産	732	712	19	資本金	2,666	2,666	—
<b>無形固定資産</b>	<b>205</b>	<b>264</b>	<b>△ 59</b>	資本剰余金	2,434	2,434	—
のれん	91	122	△ 30	利益剰余金	14,286	13,593	692
その他の無形固定資産	113	142	△ 28	自己株式	△ 498	△ 498	—
<b>投資その他の資産</b>	<b>849</b>	<b>981</b>	<b>△ 132</b>	その他の包括利益累計額	△ 1,239	△ 1,205	△ 33
その他の投資等	940	1,062	△ 122	その他有価証券評価差額金	304	317	△ 12
貸倒引当金	△ 91	△ 80	△ 10	繰延ヘッジ損益	△ 4	16	△ 20
				土地再評価差額金	△ 1,539	△ 1,539	—
<b>資産合計</b>	<b>30,571</b>	<b>31,192</b>	<b>△ 621</b>	<b>新株予約権</b>	<b>3</b>	<b>—</b>	<b>3</b>
				<b>純資産合計</b>	<b>17,652</b>	<b>16,990</b>	<b>661</b>
				<b>負債・純資産合計</b>	<b>30,571</b>	<b>31,192</b>	<b>△ 621</b>

支払手形・買掛金  
支払手形・買掛金の決済により、前期末と比べて残高が減少しております。

その他の固定負債  
役員退職慰労引当金の支払いにより減少しております。

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)			
科目	当第2四半期(累計) (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)	前第2四半期(累計) (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)	増減
<b>売上高</b>	<b>22,138</b>	<b>19,674</b>	<b>2,463</b>
売上原価	17,266	15,351	1,915
<b>売上総利益</b>	<b>4,871</b>	<b>4,323</b>	<b>548</b>
販売費及び一般管理費	3,405	3,171	233
<b>営業利益</b>	<b>1,466</b>	<b>1,151</b>	<b>314</b>
<b>営業外収益</b>	<b>81</b>	<b>77</b>	<b>4</b>
受取利息配当金	5	7	△ 1
仕入割引	65	58	7
その他の営業外収益	10	12	△ 1
<b>営業外費用</b>	<b>36</b>	<b>34</b>	<b>1</b>
支払利息	1	1	0
売上割引	29	25	3
その他の営業外費用	6	7	△ 1
<b>経常利益</b>	<b>1,511</b>	<b>1,194</b>	<b>317</b>
<b>特別利益</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
固定資産売却益	0	0	0
<b>特別損失</b>	<b>3</b>	<b>6</b>	<b>△ 2</b>
固定資産除売却損	3	6	△ 2
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>1,508</b>	<b>1,187</b>	<b>320</b>
法人税・住民税及び事業税	494	424	69
法人税等調整額	114	64	50
<b>少数株主損益調整前四半期純利益</b>	<b>899</b>	<b>699</b>	<b>200</b>
<b>四半期純利益</b>	<b>899</b>	<b>699</b>	<b>200</b>

売上高  
震災復興向け資材、太陽光発電設備向け資材の受注の増加等により、売上高は前年同期比12.5%増と増収になりました。

営業利益  
堅調な建設需要を背景に売上高は増加し、営業利益は前年同期比27.3%増と増益になりました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)		
科目	当第2四半期(累計) (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)	前第2四半期(累計) (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)
<b>① 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>97</b>	<b>822</b>
<b>② 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>32</b>	<b>△ 242</b>
<b>③ 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 257</b>	<b>△ 368</b>
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>△ 0</b>	<b>△ 2</b>
<b>現金及び現金同等物の増減額(△は減少)</b>	<b>△ 127</b>	<b>209</b>
<b>現金及び現金同等物の期首残高</b>	<b>4,798</b>	<b>2,790</b>
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>4,671</b>	<b>2,999</b>
<b>① 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	役員退職慰労引当金の減少252百万円、たな卸資産の増加378百万円、仕入債務の減少608百万円及び法人税等の支払い648百万円等により資金を使用した一方で、税金等調整前四半期純利益の計上1,508百万円、減価償却費の計上196百万円及び売上債権の減少387百万円等により資金を獲得したことにより、97百万円の収入となりました。	
<b>② 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	信託受益権の取得1,205百万円並びに有形固定資産及び無形固定資産の取得241百万円等により資金を使用した一方で、信託受益権の償還1,465百万円等により資金を獲得したことにより、32百万円の収入となりました。	
<b>③ 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	短期借入金の純減少額50百万円及び配当金の支払い206百万円等に資金を使用したことにより、257百万円の支出となりました。	

(平成25年9月30日現在)

会社概要

社名	コンドーテック株式会社 (英文名 KONDOTEC INC.)
本社	大阪市西区境川二丁目2番90号 TEL 06-6582-8441(代表)
東京本社	東京都江東区南砂一丁目9番3号 TEL 03-5634-2241(代表)
設立	昭和28年1月14日
資本金	26億6,648万5千円
従業員	連結685名 単体581名
連結子会社	三和電材株式会社

役員

代表取締役会長	菅原 昭
代表取締役社長	近藤 勝彦
専務取締役	安藤 朋也
常務取締役	平田 茂
常務取締役	滝水 莞爾
取締役	山田 清
取締役	宮 晴夫
取締役	矢野 雅彦
取締役(社外取締役)	徳田 勝
常勤監査役	河瀬 哲夫
監査役(社外監査役)	北山 諒一
監査役(社外監査役)	村辻 義信

(平成25年9月30日現在)

株式の状況

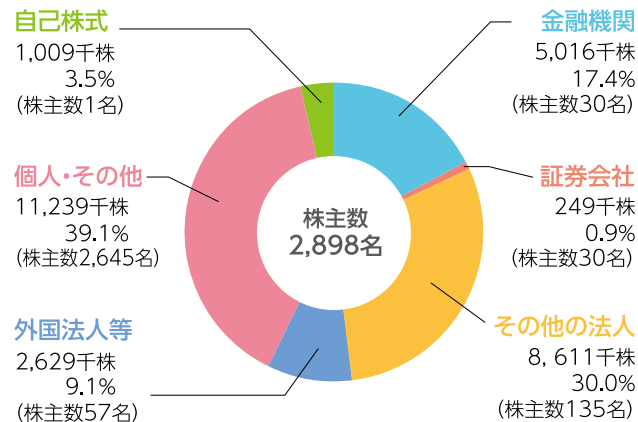
発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式総数	28,757,000株
単元株式数	100株

大株主

株主名	持株数	持株比率
有限会社藤和興産	3,014千株	10.9%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,732千株	6.2%
ピーエフエフファイブアイロ-ファンドストラックファンデーション(株主名非公開)	1,625千株	5.9%
コンドーテック社員持株会	1,500千株	5.4%
大阪中小企業投資育成株式会社	1,247千株	4.5%
株式会社Fプランニング	900千株	3.2%
近藤 純位	802千株	2.9%
株式会社三菱東京UFJ銀行	753千株	2.7%
近藤 勝彦	752千株	2.7%
近藤 雅英	664千株	2.4%

(注)自己株式1,009千株(ESOP信託口125千株を除く)は含めておりません。  
また、持株比率は自己株式を除いて算出しております。

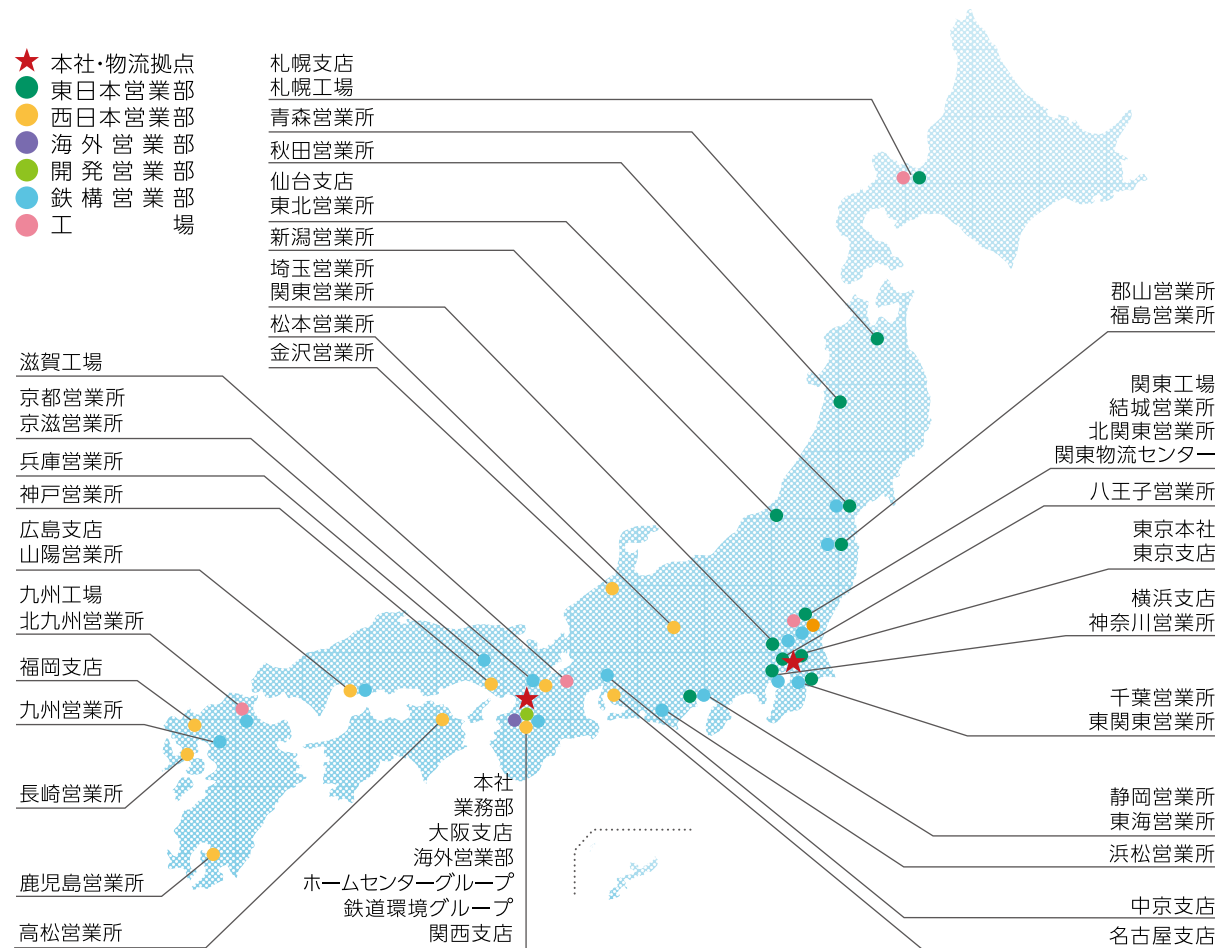
所有者別株式分布状況



当社営業拠点・工場

(平成25年9月30日現在)

- ★ 本社・物流拠点
- 東日本営業部
- 西日本営業部
- 海外営業部
- 開発営業部
- 鉄構営業部
- 工場



海外: タイ駐在員事務所

グループ会社 三和電材株式会社(本社 名古屋市西区) 営業所13ヶ所  
KONDOTEC INTERNATIONAL (THAILAND) Co., Ltd.

## コンドールテックホームページのご案内

個人投資家の皆様当社をご理解いただくため、当社の事業内容や強みをご紹介します「なるほど!!コンドールテック」をはじめ、会社説明会動画、決算ハイライト、開示資料、CSR、取扱製品・商品などさまざまなコンテンツをご用意しております。ぜひご覧下さい。

インターネットホームページ

<http://www.kondotec.co.jp>

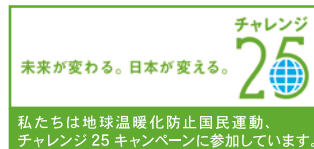
コンドールテック

検索



## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 ☎ 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 ※当社は東京・大阪両証券取引所に上場していましたが、大阪証券取引所は、平成25年7月16日付をもって東京証券取引所と市場の統合を行ったため、同日以降当社の上場証券取引所は東京証券取引所市場のみとなりました。



コンドールテックは地球温暖化防止のための国民的プロジェクト「チャレンジ25」に加盟し、企業理念にあります「豊かな社会づくりに貢献します」を実践すべく環境問題に取り組んでおります。

## 【株式に関する住所変更等の届出及びご照会】

証券会社でお取引をされている株主様

- 郵便物送付先・電話お問い合せ先  
お取引のある証券会社になります。
- ※未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店及び全国各支店でお支払いいたします。

特別口座に記録されている株主様

- 郵便物送付先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
- 電話お問い合せ先 ☎ 0120-094-777 (通話料無料)
- お取扱店 三菱UFJ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店



コンドールテック株式会社

〒550-0024 大阪市西区境川二丁目2番90号  
TEL 06-6582-8441 kikaku@kondotec.co.jp



UD FONT

平成25年11月発行 当報告書には財政状態及び経営成績に関する将来予測の記述が含まれております。  
この前提及び将来予測の記述には、経営を取り巻く環境の変化などによる一定のリスクと不確実性が含まれております。

環境に配慮した植物油インキを使用しています。

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。